

別表第1 評価領域及び行動プロセスに関する着眼点

※「着眼点」は、職務を遂行する上で通常必要とされる水準を例示したものである。

寄宿舎指導員

評価領域	着眼点
I 生活指導等の指導計画の作成・実施・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・寄宿舎生の健康や障害の程度、保護者の願い等を踏まえ、寄宿舎における経営案や、年間行事計画等を作成している。 ・教員や保護者と連携し、寄宿舎生一人一人の生活面の目標を明確にした指導計画を作成している。 ・明るく意欲を持って指導に当たり、舎生会活動や寄宿舎行事等を楽しい活動にしながら、自治的活動や集団的活動への参加の意欲を高めている。 ・教員や保護者と連携しながら指導目標を見直し、指導方法の改善に努めている。
II 寄宿舎の施設・設備の管理、寄宿舎生の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で快適な環境で生活が行えるよう、寄宿舎の施設設備の整備や安全管理に努めている。 ・寄宿舎生の健康管理、生活習慣の指導など、家庭としての機能や自立する力を育てる機能を果たしている。
III その他の校務等 校務分掌等	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 ・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 ・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
チームワーク行動	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。